| 授業科目 | ファミリーソーシャルワーク論 | | | | | 実務家教員担当科目 | - |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 単位 | 2 | 履修 | 選択 | 開講年次 | 4 | 開講時期 | 前期 |
| 担当教員 | 文屋　典子 | | | | | | |
| 授業概要 | 高齢者福祉、子ども家庭福祉、地域福祉等様々なニーズのある家族へのソーシャルワークについて解説する。現代の家族の抱える課題や特徴を理解し、家族を取り巻く社会的状況との交互作用として家族の状況を捉え、支援の展開について多角的に考察することを通して、家族支援におけるソーシャルワークの視点への理解を深めることを目標とする。 | | | | | | |
| 授業形態 | 講義 | | | 授業方法 | ディスカッション | | |

| 学生が達成すべき行動目標 | |
|---|---|
| 標準的レベル | 1．家族を取り巻く社会的状況と現代家族の抱える困難を理解している。<br>2．家族の思いやニーズに応じた支援の方法・展開について理解している。<br>3．困難に直面した家族内に生じる相互作用と、家族を取り巻く外部システムとの交互作用について理解している。<br>4．システム理論、社会構成主義的アプローチ、エンパワメントアプローチに基づくファミリーソーシャルワークについて理解している。 |
| 理想的レベル | 1．家族を取り巻く釈迦状況と現代家族の抱える困難や課題について説明できる。<br>2．家族の思いやニーズに寄り添った支援の方法・展開を説明することができる。<br>3．困難に直面した家族内に生じる相互作用と、家族を取り巻く外部システムとの交互作用について説明することができる。<br>4．事例検討を通して、システム理論、社会構成主義的アプローチ、エンパワメントアプローチに基づくファミリーソーシャルワークの支援プランについて提案できる。 |

評価方法・評価割合

| 評価方法 | 評価割合（数値） | 備考 |
|---|---|---|
| 試験 | | |
| 小テスト | | |
| レポート | 70% | |
| 発表（口頭、プレゼンテーション） | | |
| レポート外の提出物 | | |
| その他 | 30% | グループディスカッションへの参加度、発言内容、ファシリテーターとしての貢献などを評価する |

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

| DP1 | ○ | DP2 | ○ | DP3 | ○ | DP4 | - | DP5 | - | ナンバリング | WE31221J |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 学習課題（予習・復習） | 1 回の学習目安（時間） |
|---|---|
| 授業内容についての復習 | 4 |

授業計画

| | |
|---|---|
| 第 1 回 | テーマ：ソーシャルワークにおける家族 |

| | |
|---|---|
| | 援助対象としての家族、原因としての家族、協働者としての家族、ソーシャルワーク実践における家族の位置づけについて解説する。 |
| 第 2 回 | テーマ：システム論に基づく家族療法理論とソーシャルワークへの影響<br>家族療法理論の歴史的展開、システム論に基づく家族療法の認識論とソーシャルワークへの影響について解説する。 |
| 第 3 回 | テーマ：家族支援から家族とのジェネラリストソーシャルワークへ<br>家族の変容と多様化、福祉政策における家族の位置づけの変遷、家族支援から家族を主体としたソーシャルワーク実践へ、家族を捉える視点について解説する。 |
| 第 4 回 | テーマ：高齢者介護と家族<br>事例検討を通して、家族をシステムとして捉え、リフレーミング等を用いて介護者と被介護者の関係性を支えるミクロレベルでの介入の視点について考察する。 |
| 第 5 回 | テーマ：高齢者介護家族とメゾ・マクロソーシャルワーク<br>事例検討を通して、家族を取り巻く社会に働きかけるメゾ・マクロレベルでのソーシャルワークの視点について考察する。 |
| 第 6 回 | テーマ：退院支援と家族エンパワメント<br>事例検討を通して、問題を持続させる構造とそれを変容させる働きかけ、エンパワメントを生成する過程について考察する。 |
| 第 7 回 | テーマ：児童虐待と家族<br>児童虐待の現状をデータにもとづいて理解し、虐待の背景にある要因、DV, 0 日児事例等について考察する。 |
| 第 8 回 | テーマ：子どもの問題行動と家族<br>事例検討を通して、子どもの問題行動をめぐる家族の状況のアセスメント、情報収集と支援計画において家族全体を視野に含める視点について考察する。 |
| 第 9 回 | テーマ：メンタルヘルスに問題のある親の子育て<br>事例検討を通して、メンタルヘルスに問題のある親の抱える困難、ニーズ、求められる支援の方法について考察する。 |
| 第 10 回 | テーマ：障害と家族<br>事例検討を通して、障害のある子どもの親であること、家族であること、それぞれの思いを理解し、当事者と家族のウェルビーイングを支える支援について考察する。 |
| 第 11 回 | テーマ：ひきこもりと家族<br>ひきこもりの現状をデータにもとづいて理解し、事例検討を通してひきこもり当事者と家族の思いに寄り沿う支援について考察する。 |
| 第 12 回 | テーマ：貧困・孤立と家族<br>子どもの貧困の現状をデータから把握し、貧困と子どもの育ち、子育て家族につながる支援について事例を通して考察する。 |
| 第 13 回 | テーマ：親子のかたちとアイデンティティ<br>社会的養護や生殖補助医療が進む中で、多様な親子の形が存在し、出自を知る権利にどう向き合うかが新たな課題となっている。これらのテーマに関する事例検討を通して、考察を深める。 |
| 第 14 回 | テーマ：家族の物語<br>社会的養護事例における家族の物語への支援について解説する。 |
| 第 15 回 | テーマ：ファミリーソーシャルワークの課題と展望 |

| | |
|---|---|
| | 15 回の授業を振り返り、家族をとりまく福祉的課題とファミリーソーシャルワークの展望について考察する。 |
| テキスト | テキストは指定せず、配布資料に沿って授業を行う。 |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 「家族主体ソーシャルワーク論」　得津愼子　著　　ナカニシヤ出版<br>「家族社会学を学ぶ人のために」　井上眞理子　編　　世界思想社<br>「家族支援と子育て支援　ファミリーソーシャルワークの方法と実践」<br>　相澤仁・宮島清　編　　明石書店<br>「メンタルヘルス問題のある親の子育てと暮らしへの支援」　松宮透髙　編　　福村出版<br>「障害者ソーシャルワークへのアプローチ　その構築と実践におけるジレンマ」<br>　松岡克尚・横須賀俊司　編著　　明石書店<br>「ひきこもりソーシャルワーク　生きる場と関係の創出」<br>　山本耕平　著　　かもがわ出版<br><br>その他、適宜授業の中で紹介します。 |
| 課題に対するフィードバックの方法 | レポートや提出物はコメントをつけて返却する。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | 既習科目で学んだソーシャルワーク実践に関する知識を確認すること。<br>現在の社会で家族が直面する困難や課題に関心を抱いていること。<br>福祉的ニーズのある家族に関するニュース、家族を描いたドラマや映画などに関心を向け、家族の個別の物語や思いについて考察する機会をもちましょう。 |